



NPO Honokuni

Forestry Association

Forest

**フォレスト** NPO (特定非営利活動法人)  
**Vol. 103** 穂の国森づくりの会

〒440-0888  
 愛知県豊橋市駅前大通三丁目53番地  
 太陽生命豊橋ビル2F  
 Tel. 0532-55-5272 Fax. 0532-55-5276  
 E-mail / honokuni@honokuni.org  
 http://www.honokuni.org/

今年5月に急逝された前編集長の度会尚志さんの後任としてフォレスト三代目編集長を務めることになりました石原です。豊川市で㈱ウッドシステム代表取締役社長を務めています。業務内容は木材・建材・住設機器販売、内装工事・木工事、木製土木資材販売です。

仕事柄、木材を扱っていますので森林環境等には大変興味を持っています。多くの皆様に東三河の森林について関心を持っていただけるよう情報発信していきたいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。今後ともフォレストにご期待ください。  
 (石原勝好)

## 視察に行ってきました! ~ドイツ編~



この度、ドイツへ「多機能型森林業」という森林マネジメントの視察研修へ行ってきましたので報告します。

視察期間は4月16日から3日間、場所はドイツ最南部、シュバルツバルト(通称:黒い森)の森林です。新緑の季節で童話の世界の様に大変きれいな森でした。現地説明の担当は森林官のランゲさんです。森林官という職業は日本になく、広大な森林全体をトータルマネジメントする仕事であり、市民から大変尊敬される存在となっています。

「多機能型森林業」は利用・保全・保養の3つのポイントがあります。利用はいわゆる木材の活用、保全は森林環境を守ることで間伐や狩猟も含まれ、保養は市民が自由に森林を活用できるレクリエーション面の充実になります。この3点を分離分業することなく森林をどう運営していくのか、行政や市民、森林業従事者や地主等のステイクホルダーが共通認識として共有しています。この合意形成には何年もかかるケースが多いそうですが、最終的に皆が進むべき方向を納得し、行動することが何より大切なことだと学びました。

また大変感銘を受けたのは林道、いわゆる作業道の広さと頑丈さです。ドイツ的林道は30トン以上の作業車両が通行出来るように山々を横断して整備されており、山のどの場所であっても伐採から搬出までシステムティックに行える仕組みが作られています。切り出した木材は林道脇に積み上げられ、そこへ搬出車両が横付けし、木材を運び出せる広さと言えば想像していただけるでしょうか。この林道は100年先も使えるよう、水の逃がし方も実によく考え抜かれています。



▲シュバルツバルトの森と市街地



▲整備された林道と丸太

林業と農業は違うと言います。農業は短期間に均一の作物を育てる仕事ですが、林業は100年先を考え、生物多様性に配慮し、自然の力を生かす仕事です。

また、日本では、林業という文字に2本の木が入りますが、森林業と書くと5本の文字が立体的に見てとれます。日本で森林のこれからを考える時、言葉遊びのようですが大事な視点ではないかと強く感じた研修でした。

(たつや)



# 穂の国自然観察

三河生物同好会と穂の国森づくりの会が共催して開催してきた自然観察会の様子を紹介しす

その12  
「御池沼沢植物群落」  
中西 正

## 「御池沼沢植物群落」自然観察会 2007.9.9

今回は三重県四日市にまで足を延ばしての観察会である。四日市市の西の郊外は、高い丘陵はなく平坦地が続いている。しかし、微妙な高低差はあり、その中に御池がある。指定湿地は西部と東部に分断されており、その間には田が広がっている。空中写真で見ると、その田を含む一帯が湿地であったことが伺われる。面積は現在の5倍以上あったと思われる。西部指定地は周りが森で、周囲はフェンスで囲まれている。東部指定地は周辺が田で、その田と一体になった草地風景を作っている。今回の講師は熊谷先生だった。

西部湿地を囲む森はシロダモ、タブの照葉樹林と竹林、スギ・ヒノキ植林である。この中央に細長く湿地があり、コンクリートの歩道が付けられている。湿地の山についた側にはハンノキやイソノキなどの疎林がある。湿地の中に広くノリウツギ、イソノキの灌木が生え、その中にヘビボラズやヤチャナギも生えている。ヨシも広く生え、その中にはイヌノハナヒゲが混じっていたりする。ススキやネザサが生える部分もある。湿地の中央部にはミズギボウシやヌマガヤ、シラタマホシクサ、ヒメシロネが生える部分も見られる。この湿地も周伊勢湾要素植物が生える湿地といえる。サワギキョウやノハナショウブが生える部分もあった。群落が異なる場所は微妙に環境が違っていることが考えられる。

東部湿地は広いが、そこに生えるのは丈の高い植物が目立った。ヨシやアンペライが多く、アンペライは特に密生していた。ミソハギやナガボノアカワレモコウが咲いていた。東西両湿地とも中に低木が生え、藪状になった様子は、一見荒れた状態とを考えてしまう。しかし、湿地というものはこんなものなのかもしれない。きれいだと思う湿地はどこかおかしいのだろう。

この湿地の特徴は周伊勢湾要素植物の生育とヤチャナギにあるのではないだろうか。ヤチャナギも不思議な植物で、基本的に寒い場所に生え、北極圏の周りを分布の中心にしている。北海道の湿地では普通の植物が本州では尾瀬ヶ原にあり、南に飛んで次が愛知県田原市の黒河湿地、そしてこの御池である。黒河湿地の方が南に位置するので、この御池が南限とは言えないが、それに類した価値を持つといえる。ヤマモモ科に属し、姿かたちが美しいわけでもなく、花がきれいでもない。貴重さも、北海道に行けば普通である。この地域にのみに分布する周伊勢湾要素植物とも違った意味がありそうである。かつて、この地域一帯が北海道より寒かったとき、このヤチャナギは普通に分布していた。暖かくなるにつれて多くの場所で消えていった中で、残ったものがこの湿地といえる。



▲東部湿地の様子



▲ヤチャナギ





# 会員さんの森づくり探訪

シリーズPart16  
高砂熱学工業株式会社  
名古屋支店さん

高砂熱学工業株式会社さん(本社:東京都新宿区)は、「世界貿易センター」、「JRセントラルタワーズ」、「JRゲートタワー」、「名古屋ビルヂング」などの超高層ビル群やデパートなどの快適空調、「新国立劇場」や「国立新美術館」などの高品質空調、「東京ドーム」、「ナゴヤドーム」や「京都駅」などの大空間空調など、施工実績は業界トップを誇る企業です。

2016年からCSR活動の一環として、グループを挙げて、国・都道府県が推進する「企業の森林づくり」に賛同し、全国的な活動に着手されています。その4番目の拠点として、愛知県の「企業の森づくり」事業に参画し、2017年から小牧県有林内で活動を開始されました。

協定林は、中央高速道路小牧東ICの近くにあり、広さ3haのヒノキ林です。枯れ枝が多く除伐も必要な林相です。そこで、まずは見



通しのよい林内にするために、枯れ枝の枝打ち作業に取り組んでいます。

今年(2018年)10月13日に第3回目の整備活動を開催。子どもさんも含めて約20名で作業を行い、大分見通しのよい林相になってきました。この調子で枝打ち作業を進め、除伐作業を実施することにより、森林の多面的機能が向上したヒノキ林に生まれ変わる計画です。

愛知県の南端の豊橋市からほぼ北端の小牧市へ通うことになりましたが、高速道路を使えば移動時間は片道1時間半程度。遠くは感じません。これからも全力で森づくりのお手伝いをさせていただきます。(もりみの)

## 企業の森づくり応援します!!

穂の国森づくりの会では、森づくり活動に取り組む企業・団体を積極的に応援しています。

- 森林整備の計画づくり
- 森林整備の作業指導
- 作業道具の貸し出し
- 森林を活用した環境教室の企画
- 三河材を活用したイベントの企画
- 森林を活用した社員研修の企画
- 森林の素材を活用した販促グッズの企画 など

様々なご要望に応じて応援させていただきます。簡単なお問い合わせでも結構です。事務局までお気軽にお問い合わせください。



環境活動は大切 地域への貢献も重要でも...何から始めたらいいのかわからない。そんなあなたの会社の第一歩に



## CSR 対応型自動販売機「森づくりベンダー」

- ドリンク1本につき10円が東三河地域の森林保全活動に活用されます!
- 新たな投資は不要、福利厚生の一環としてのスタートもOK、宣伝効果にも期待大!!



「森づくりベンダー」設置にご協力いただける企業さんを随時募集しています。詳しくは、穂の国森づくりの会事務局までお問合せください。

## 寄付をいただきました。

株式会社かんぽ生命様より  
金 100万円

ひまわり農業協同組合様より  
金 3,250円

ありがとうございます。大切に活用させていただきます。

# ご冥福をお祈りいたします

## 神野 信郎 特別顧問

穂の国森づくりの会が任意団体として設立した平成9年度から平成12年度まで会長として、また、特定非営利活動法人化した平成12年度から平成20年度まで理事長として、永きにわたり会の代表を務められた当会特別顧問の神野信郎氏が、去る11月12日に88歳でご逝去されました。

東三河の経済発展にとどまらず、環境保全活動にも労を惜しまずご尽力いただきました。



## 度会 尚志 フォレスト編集局長

機関紙「フォレスト創刊号」から副編集局長として、また、平成17年度から編集局長として、永きにわたり編集と発行にご尽力いただきました度会尚志氏が、去る5月15日に60歳の若さでご急逝されました。

本業の印刷業のノウハウを惜しみなくご教授くださり、創立20周年には「フォレストVol.100」を無事に発行することができました。「次はVol.150を目標に!」と話していたばかりでした。



## イベント インフォメーション

会員の方はもちろん、会員のご家族やご友人等どなたでも申し込み可能です。  
参加ご希望の方は、申し込み方法等をご確認の上、穂の国森づくりの会事務局までご連絡下さい。  
E-mail honokuni@honokuni.org FAX0532-55-5276 TEL0532-55-5272

1月27日(日)

### ウッドパーク平尾 里山づくり植樹祭

場 所：ウッドパーク平尾(豊川市平尾町)  
集 合：①午前9時半 豊橋信用金庫お客様相談所前  
②午前10時にウッドパーク平尾  
(詳しい場所は、お申込み後にご案内致します)  
定 員：20名(申込み順)  
対 象：どなたでも  
参加費：無料  
内 容：コナラやヤマグリ、ヤマザクラなどの植樹  
持ち物：軍手、昼食、飲料、雨具など  
申込み：参加希望者全員の住所、氏名、電話番号を事務局までご連絡下さい。  
(1月21日(月)締め切り)

※本事業は、(公社)日本フィランソロピー協会の2018年度寄付プログラムを通じて、(株)かんぽ生命保険の寄付により開催します。

2月23日(土)

### はじめての森づくり 体験講座

場 所：愛知県民の森(新城市)  
集 合：①午前8時半 豊橋信用金庫お客様相談所前  
(豊橋市駅前大通1丁目)  
②午前10時にモリトピア愛知玄関前  
(愛知県民の森内)  
定 員：20名(申込み順)  
対 象：どなたでも  
参加費：無料  
内 容：除伐作業(細い低木を伐る作業です)  
持ち物：軍手、昼食、飲料、雨具など  
申込み：参加希望者全員の住所、氏名、電話番号を事務局までご連絡下さい。  
(2月19日(火)締め切り)

※本事業は(公財)豊川水源基金「水源林保全流域協働事業」の助成を受けています。

私たちと一緒に森へいきませんか?  
穂の国森づくりの会会員大募集!!  
<http://www.honokuni.org/>

会の趣旨にご賛同いただき、年会費1口以上ご負担いただきますと、どなたでも会員になることができます。  
会費:個人会員1口・3,000円/団体企業会員1口・12,000円  
入会に関するお問合せは、穂の国森づくりの会事務局まで  
Tel. 0532-55-5272 E-mail/honokuni@honokuni.org